

令和2年度 第2回社会教育委員会議次第

と き 令和2年6月23日（火）
午後1時30分から
ところ 愛荘町役場 秦荘庁舎
2階 大会議室

1. 開会あいさつ

北村代表
陌間課長

2. 協議事項

（1）令和2年度あいしょう学びの広場事業「講演会」の代替事業について（資料1）

（2）生涯学習に関する町民アンケート調査について（資料2）

3. 報告事項

・愛知川公民館のあり方について（資料3）

4. その他

5. 次回、社会教育委員会議の日程調整について

6. 閉会あいさつ

西川副代表

会 議 名	令和2年度 第2回 愛荘町社会教育委員会議
開 催 日 時	令和2年6月23日(火) 13:30~16:06
開 催 場 所	滋賀県愛知郡愛荘町安孫子825番地 愛荘町役場 秦荘庁舎 2階 大会議室
出 席 者	【委員】 北村代表、西川副代表、今村委員、森委員、北川委員、坂本委員、大辻委員、向角委員、山本委員、治武委員 【事務局】 陌間課長、高田係長
欠 席 者	【委員】 0人
公開・非公開の別	公開
議 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度あいしょう学びの広場事業について ・生涯学習に関するアンケート調査について ・愛知川公民館のあり方について ・その他
傍聴者の数	0人
問い合わせ先	愛荘町生涯学習課 電話番号 0749-37-8055 メールアドレス syogaku@town.aisho.lg.jp

IV 行政機能の配置の最適化に向けた具体の方針(案)

4 町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】

(3) 具体の方針案

1. 具体の方針案

- 社会教育施設としての公民館機能を町として維持することが重要であり、公民館業務は生涯学習課で引き続き実施する。
- 公民館事業は、公民館の代替施設として相応しい施設規模や状態であるハーティセンター秦荘を中心に展開する。
- 愛知川公民館および町民センター愛知川の建物は解体する。

2. 方針の推進にあたって

◎ハード面

- 将来的な跡地利用は、引き続き検討を予定している愛知川体育館や愛知川武道館等のスポーツ・レクリエーション系施設と一体的に検討する。
- 町民交流拠点としている「ゆめまちテラスえち」の会議室も有効に活用する。

◎ソフト面

- 社会の変化や住民ニーズに対応した社会教育講座等を創意工夫して企画実施する。
- 社会教育の実施にあたっては、関係課・関係団体と連携して充実させていく。

生涯学習に関する町民アンケート調査

ご協力のお願い

■ アンケートのお願い

「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や、社会教育などの学習機会に限らず、自ら進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などの様々な学習活動のことを指します。

今回、愛荘町教育委員会では、町民の皆様が、ふだん、どのような事柄を学びたいと思っていられるのか、また、どのようにして学んでいられるのかなどを調べるために、アンケート調査を行うことになりました。

このアンケートの結果を生かして、愛荘町の生涯学習をより良いものにしていきたいと考えております。お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、このアンケートのねらいをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートは、どなたがお答えになったのか分からないようにして、すべて数字で整理しますので、あなたがお答えになった事柄が外部に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは決してありません。お手数でございますが、お答え下さったアンケートは、同封の封筒に入れて、●月▲日までにお返し下さい。

■ お答えになるときの注意

- * このアンケートは、宛名に記されたご本人がお答え下さい。
- * ご本人が何らかの都合でお答えができず、ご家族に18歳以上の方がおられる場合は、その方が代わってお答え下さい。
- * 質問によっては、○を付けていただく数が変わります。一つだけ選んでいただく場合と、いくつか選んで付けていただく場合がありますので、ご注意ください。
- * () には、あてはまる事柄を分かりやすくお書き下さい。
- * アンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
土・日・祝日を除く開庁日の8時30分から17時15分までにお願いたします。

愛荘町教育委員会事務局生涯学習課 TEL 0749-37-8055 (直通)

※ この調査は、愛荘町教育委員会が●●●●●●●へ委託して実施しています。



■生涯学習のイメージについてお聞きします

問1 「生涯学習」とは、1. ～9. のようなことをいいます。これらのうち、あなたはどのようなイメージを持っていましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
- 2. 趣味・教養を高めること
- 3. 職業上必要な知識・技能を身に付けること
- 4. 高齢者の生きがいを充実すること
- 5. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする
- 6. 公民館など自治体の講座や教室における学習活動
- 7. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動
- 8. 学校における学習活動
- 9. 健康・体力づくりをすること
- 10. その他（ ）

■生涯学習の満足度・重要度についてお聞きします

問2 下記の「生涯学習」について、あなたの「満足度」と「重要度」について、それぞれあてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」については、行っていないものは、「判断できない」に○を付けてください。

	満足度					重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	判断できない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
公民館や社会教育施設などの公の機関による講座や教室	4	3	2	1	9	4	3	2	1
大学や専門学校、高等学校などの社会人を対象とした科目、コース	4	3	2	1	9	4	3	2	1
職場での教育・研修	4	3	2	1	9	4	3	2	1
カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室	4	3	2	1	9	4	3	2	1
図書館、博物館など、社会教育施設の充実	4	3	2	1	9	4	3	2	1
人権講座の開催などによる人権・生涯学習の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
ジュニアリーダー育成などの青少年教育の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
講座の開催、親の交流支援などによる家庭教育の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
社会教育関係団体(PTA、女性会、子ども会など)への支援	4	3	2	1	9	4	3	2	1
子どもの読書活動の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1

■学習情報の入手についてお聞きします

問3 あなたは、「生涯学習」に関する情報をどこから入手したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ・ラジオ |
| 3. 雑誌・情報誌 | 4. 町の広報・情報誌 |
| 5. ちらし | 6. 回覧板 |
| 7. 掲示板・ポスター | 8. 電話 |
| 9. ファックス | 10. インターネット |
| 11. ケーブルテレビ | 12. 口伝え・口コミ |
| 13. アプリ・メール配信 | 14. その他 () |
| 15. 入手するつもりはない | |

■学習成果の活用についてお聞きします

問4 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験をどの程度生かしていますか。(○を1つ)

- | | | | |
|---------------|-------|---------------|-------|
| 1. 十分に生かしている | 【問5へ】 | 2. ある程度生かしている | 【問5へ】 |
| 3. あまり生かしていない | 【問5へ】 | 4. 全く生かしていない | 【問5へ】 |
| 5. 生涯学習をしていない | 【問6へ】 | | |

問5 問4で1.～4.に○を付けた方にお聞きします。あなたは、学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会教育施設での学習に関する指導・助言など
2. 地域の子育て・育児の支援
3. 地域のボランティアやNPO活動など
4. 子ども会やPTAなどの地域活動
5. 自分の人生の充実
6. 健康の維持・増進
7. 自分の家庭生活や、子育て教育
8. 仕事や就職・転職
9. その他 ()
10. 生かしたいとは思わない

■地域と学校の連携・協働についてお聞きします

問6 近年、学校と地域が連携・協働して学びの機会を提供することで、子どもたちの豊かな育ちを支援していこうという取組が盛んになっています。あなたは、こうした取組についてどう思われますか。(○を1つ)

- | | | | |
|-----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 大いに必要だと思う | 【問7へ】 | 2. まあ必要だと思う | 【問7へ】 |
| 3. あまり必要だとは思わない | 【問9へ】 | 4. 全く必要だとは思わない | 【問9へ】 |

問6で1. か2. に○を付けた方にお聞きします

問7 あなたは、地域と学校の連携・協働の取組において、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館など社会教育施設と連携した学び
2. 地元企業や団体・組織と協力した学び
3. 高齢者や学生などの地域人材の活用
4. 学校行事等への地域住民の参加
5. 部活動での指導や交流
6. 地域住民による登下校指導などの安全管理
7. 放課後の居場所支援
8. 貧困家庭の子どもたちに対する支援
9. 行事・事業の合同開催
10. その他 ()

問8 あなたは、問7に示したような活動に、地域住民として参加したいですか。(○を1つ)

1. ぜひ参加したい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 全く参加したくない

■社会教育施設についてお聞きします

問9 下記の社会教育施設の「利用頻度」と「満足度」について、あてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」について、利用していないものは、「判断できない」に○を付けてください。

	利用頻度					満足度				
	週2回以上	週1回程度	月1～2回程度	年数回程度	なし	満足	やや満足	やや不満	不満	判断できない
ハーティーセンター桑荘	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
愛知川公民館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
桑荘図書館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
愛知川図書館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
歴史文化博物館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9

■愛荘町が設置している図書館等の利用についてお聞きします。

(図書館等とは、秦荘図書館・愛知川図書館のことをいいます)

問 10 あなたは、愛荘町が設置している図書館等を利用したことがありますか。(○を1つ)

1. 利用したことがある【問 11 へ】
2. 利用したことがない【問 13 へ】

問10で1. に○を付けた方にお聞きします

問 11 主な利用日はいつですか。(○を1つ)

1. 平日
2. 土曜日
3. 日曜日
4. 祝日
5. 曜日に関係なく利用する
6. その他 ()

問 12 あなたが図書館を利用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
【回答後、問 14 へ】

1. 本を読むため
2. 本を借りる・返すため
3. 調べ物をするため
4. 生活課題や地域課題を解決するため
5. 図書館で行われている行事に参加するため
6. 友達と交流するため
7. 子ども読書のため
8. CD・DVDなど視聴のため(シネマサロンを含む)
9. 自習のため
10. 他の用事のついでに何となく
11. その他 ()

問 13 愛荘町が設置している図書館等を利用したことがない人にお聞きします。あなたが利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 町立図書館の場所を知らないから
2. 図書館が近くに無いから
3. 県立図書館を利用しているから
4. 図書館に行く時間が無いから
5. 図書館の使い方が分からないから
6. 町立図書館が使いにくいから(駐車場の利用も含む)
7. 読みたい本が無いから
8. 子どもに読ませたい本が無いから

9. 本を読まないから
10. 本は購入して読むから
11. 子どもを連れて行くのが大変だから
12. 高齢、病気のため行けないから
13. その他 ()

問 14 あなたは愛荘町が設置している図書館等を利用するにあたり、どのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本の種類を増やすこと
2. 児童サービスを充実させること
3. 生活課題や地域課題の解決に向けた支援を充実させること
4. 読書関連事業を充実させること
5. 環境が整っていること
(授乳室、子どものスペース、読書スペース、学習スペースなど)
6. 返却場所や貸出し場所を増やす
7. 開館時間を延長する
8. 開館日数を増やす
9. その他 ()

■子どもの読書活動の推進についてお聞きします

愛荘町では現在、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。こうした取組に関わって、あなたの読書活動の状況やご意見をお聞かせください。

問 15 あなたは本(漫画、雑誌は除く)を読むことが好きですか。(○を1つ)

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い

問 16 あなたは子どもの頃、読み聞かせをしてもらったことはありますか。(○を1つ)

1. よくしてもらっていた
2. 時々してもらっていた
3. あまりしてもらっていない
4. してもらっていない

問 17 あなたは、子どもの読書活動を推進するために、家庭、地域、学校でどのような取組が必要だと考えますか。それぞれで必要だと思うものに○を2つまで付けてください。

(1)「家庭」での取組(○を2つまで)

1. 子どもに読み聞かせをする
2. 家庭内で子どもが読書をする時間をつくる
3. 家族で一緒に読書をする時間をつくる
4. 保護者が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
5. 本を購入するなどし、子どもが読みたい本をいつでも読めるようにしておく

6. 保護者が読書の重要性について理解する
7. 保護者自らが進んで読書をする
8. 保護者が積極的に子どもを図書館などや書店へ連れて行く
9. その他 ()

(2) 「学校」での取組 (○を2つまで)

1. 保育園、幼稚園、学校の先生が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
2. 学校での読書の時間を増やす
3. 学校図書館に専任の司書職員※1を配置する
4. 学校図書館を子どもが利用しやすいように整備する
5. 学校図書館の蔵書を充実させる
6. その他 ()

(3) 「地域」での取組 (○を2つまで)

1. 地域の人が学校図書館の運営(本の貸出や書架の整理など)に参加する
2. 学校や地域で活動する人や子ども読書活動団体を育成する
3. 図書館などを子どもが利用しやすいように整備する
4. 図書館などの蔵書を充実させる
5. 図書館などで子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
6. 図書館、学校図書館、子ども読書活動団体のそれぞれが連携を深める
7. 児童館や公民館などで読み聞かせ会やおはなし会などを積極的に実施する
8. その他 ()

※1 専任の司書職員：いわゆる「学校司書」。学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員のこと。平成26年6月に学校図書館法が一部改正され、配置の努力義務が規定されました。

■あなたの日常のお付き合いについてお聞きします

問18 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。それぞれについて○を1つ付けてください。

(1) 付き合いの程度 (○を1つ)

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる
2. 日常的に立ち話しをする程度の付き合いは、している
3. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
4. 付き合いは全くしていない

(2) 付き合っている人の数 (○を1つ)

1. 近所のかなり多くの人と面識・交流がある(概ね20人以上)
2. ある程度の人と面識・交流がある(概ね5～19人)
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある(概ね4人以下)
4. 隣の人がだれかも知らない

■生涯学習の振興方策についてお聞きします

問 19 今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、愛荘町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること
2. 生涯学習の専門職員（社会教育主事、司書、体育指導員など）を育成すること
3. 生涯学習を支援する地域の人材を育成すること
4. 生涯学習に関する情報を得やすくすること
5. 子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと
6. 学校図書館などの学校施設を地域に開放すること
7. 団体や個人のボランティア活動を支援すること
8. 生涯学習を通じて身に付けた成果や、その成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進すること
9. 企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること
10. その他（ ）

■あなたご自身についてお聞きします

問 20 あなたの性別はどちらですか。(○を1つ)

1. 女性
2. 男性

問 21 あなたの年代をお教えてください。(○を1つ)

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代以上

問 22 あなたは今、何をされていますか。(○を1つ)

1. 自営業
2. 会社員・公務員
3. パート・アルバイト
4. 家事専業
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

問 23 あなたはどちらの地域（学区）にお住まいですか。(○を1つ)

1. 秦荘東小学校区
2. 秦荘西小学校区
3. 愛知川小学校区
4. 愛知川東小学校区

問 24 最後に、「生涯学習」に関して、あなたのご意見、ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

「生涯学習に関する町民アンケート調査」概要（案）

1. 名称

「令和3年度生涯学習に関する町民アンケート調査」

2. 調査目的

本町の生涯学習施策推進のための生涯学習啓発活動を行うにあたり、愛荘町民の生涯学習意識の状況を把握し、今後の施策および啓発を推進するための基礎資料を得るために調査を行う。

3. 調査内容の概要と質問項目

- ・生涯学習のイメージについて
- ・生涯学習の満足度・重要度について
- ・学習情報の入手について
- ・学習成果の活用について
- ・地域と学校の連携・協働について
- ・社会教育施設について
- ・愛荘町が設置している図書館等の利用について
- ・子どもの読書活動の推進について
- ・日常のお付き合いについて
- ・生涯学習の振興方策について

4. 実施時期

令和3年7月～

5. 調査対象

- (1) 愛荘町に在住の18歳以上の男女（外国人を含む） ※令和3年6月30日現在
選挙権年齢が18歳に引き下げられたこと、また若年層の意識を深く見ること
を目的とするため。
- (2) 調査依頼数 無作為抽出3,000人（予定）
- (3) 調査および回答方法 無記名方式・郵送による

6. 外国籍者に対する対応

令和2年5月31日現在の愛荘町在住の外国籍者数 980人

【内訳】

ブラジル573人(58.5%)、フィリピン111人(11.3%)、ベトナム108人(11.0%)

他

- ・ブラジル国籍の人

ポルトガル語訳版を入れる

- ・その他の国籍の人

ふりがなをつけた日本語訳版を入れる。依頼があれば、役場職員が行って説明。

7. アンケートのまとめ

- ・報告書作成、発行

- ・ダイジェスト版を全戸配布

8. 予算について

今後積算していきます

資料1

令和2年度あいしょう学びの広場事業「講演会」の代替事業について(案)

あいしょう学びの広場事業

- ① 広く一般市民を対象とする講座を年1回開催
- ② 小規模人数講座を年3回程度開催
- ③ 親子対象のふれあい講座を年3回程度開催

●開催主旨

当初予定していた「落語家・桂吉弥講演会」は、上記①に該当するが、新型コロナウイルスの影響で中止を決定したところです。

そこで、代替事業として、滋賀県学習情報提供システム「におねっと」で紹介されている「出前講座」の開催を提案いたします。講座の内容は、主に上記③の親子対象のふれあい講座を計画したいと考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響から、学校の休校要請、緊急事態宣言の発令、外出自粛により、子どもたちが学ぶ機会が随分奪われてしまいました。そこで、子どもたちが楽しんで受講できる講座として、親子がふれあって共に学べる講座を提供したいと思います。

また、上記②の小規模人数講座も計画します。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対応策として、参加者・スタッフはマスクを着用し、ソーシャルディスタンス（社会的距離）を確保して進めていきます。

●講座

(1)「究極のエコバッグ～ふるしきからくらかたを見直そう～」

- 日 時 令和2年8月29日（土）午前9時30分～午前11時30分
※時間はおおよその時間であり、講師の方と今後調整します。
- 場 所 ハーティーセンター秦荘 中ホール
- 対象者 一般 20名まで
- 受講料 無料

(2)「雲を作ってみよう」

- 日 時 令和2年9月19日（土）午前9時30分～午前10時30分
※時間はおおよその時間であり、講師の方と今後調整します。
- 場 所 ハーティーセンター秦荘 中ホール
- 対象者 親子10組まで（子どものみの参加は不可）
- 受講料 無料

(3)「火おこし体験」

- 日 時 令和2年10月17日(土) 午前9時30分～午前10時30分
※時間はおおよその時間であり、講師の方と今後調整します。
- 場 所 愛知川公民館 ふれあい室、和室
- 対象者 親子10組まで(子どものみの参加は不可)
- 受講料 無料

●予算

上記3講座について、ボランティア講師に対して県が旅費を支払うため、町の負担はない。

●周知方法

広報あいしょうにチラシを差し込みする。防災行政無線で放送を流す。

予定時期：8月号カラー版(7月20日(月)発行)

※詳細については、今後、県担当課と調整します。

社会教育委員として何ができるか

青少年育成町民会議事業で実施している「青少年育成パトロール」は、パトロール時間が金曜日の午後3時30分～午後4時30分であり、小学生を対象としたものであるといえる。そこで、中学生を対象とした部活動終了の時間帯のパトロールをしてみてもどうか。

社会教育委員に求められる力と社会教育行政の役割について

～アフターコロナの新たな地域づくりに向けて～

湊川短期大学・兵庫県川西市社会教育委員 野崎 洋司 (のざき ひろし)

4. 社会教育委員の役割

・社会教育法

(1) 第15条 (教育委員会への助言)

- ① **社会教育に関する諸計画**を立案すること。
- ② 定時又は臨時に会議を開き、**教育委員会**の諮問に応じ、これに対して意見を述べる
こと。

(2) 第13条 (社会教育関係団体への補助金支出)

あらかじめ教育委員会が**社会教育委員の会談**の意見を聴いて行わなければならない。

→ 社会教育委員会ではない (= **独任制**)

共通理解4

・個々の社会教育委員に求められる役割は**社会教育に関する政策提言**である

6. アフターコロナの新たな地域づくり

(1) 「非日常」が「日常」になることで見えてきたこと

⇒ ICT活用による「新たな日常」の可能性

- | | |
|----------------|----------------------|
| ① 危機管理・危機対応の強化 | (2) 社会教育事業 (計画) の構想 |
| ② 不必要な行動様式の見直し | ① 「つくる」プラン |
| ③ 新たな人間関係の構築 | ② 「よくする」プラン |
| | ③ 「つぶす (=つくりかえる)」プラン |
- ⇒ 対象とする人 (= お役立ちしたい人 or 組織)
を想定する

(3) ICT活用による新たな社会教育事業 (計画)

◆ 遠隔授業の実施形態

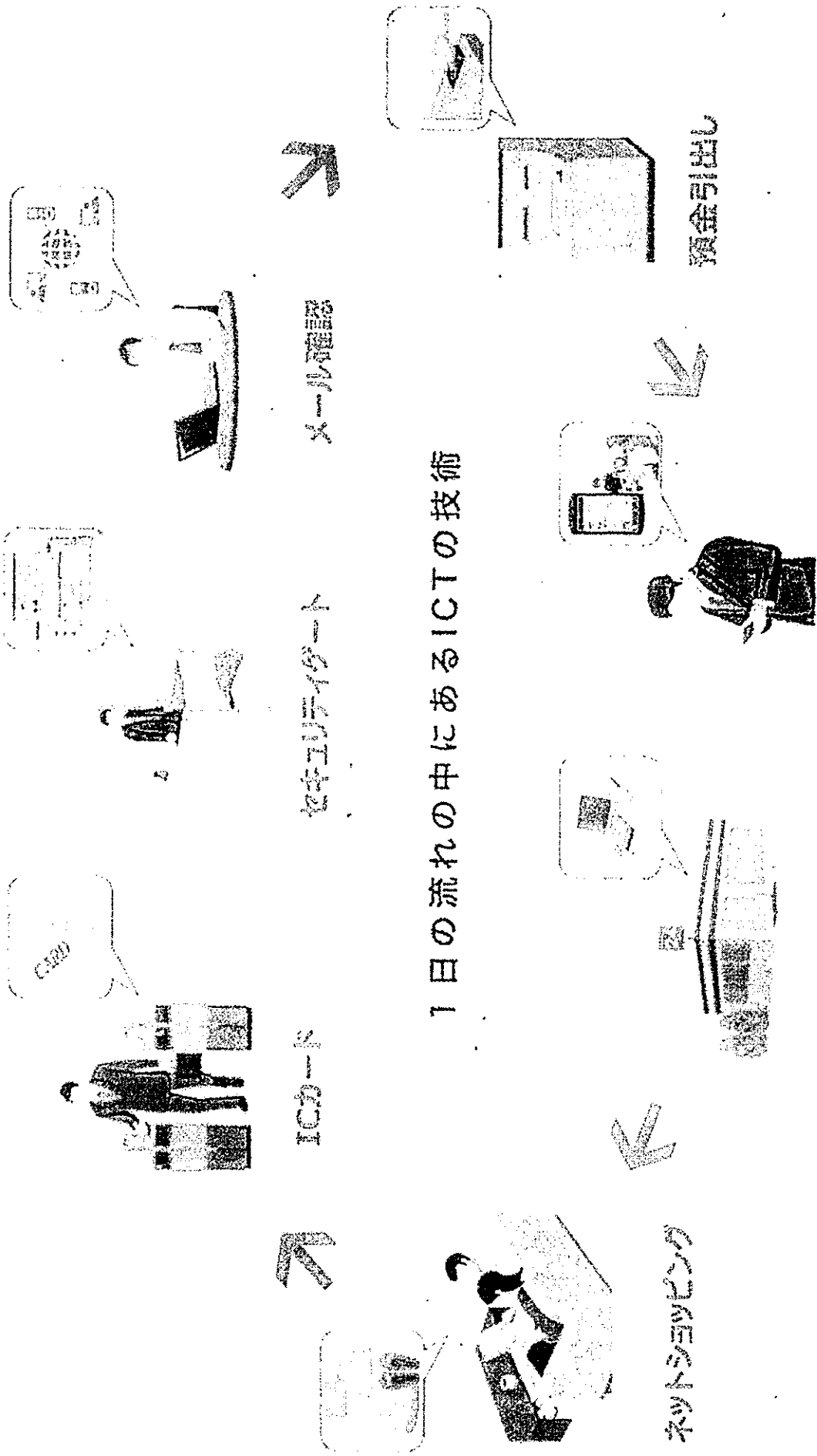
- 1 オンライン型
・画面上で対面、対話を実施
- 2 オンデマンド型
・録音、録画をデータ配布
- 3 ハイブリッド型
・リアルタイム対面と録音・録画

ICT (Information and Communication Technology) は「情報通信技術」の略であり、IT (Information Technology) とほぼ同義の意味を持つが、コンピューター関連の技術を IT、コンピューター技術の活用に着目する場合を ICT と、区別して用いる場合もある。国際的に

ICT が定着していることなどから、日本でも近年 ICT が IT に代わる言葉として広まりつつある。

ICT はメールや SNS、チャットなどのコミュニケーションのための技術も含まれます。そのため、家族や友人、ビジネス上の取引先や仲間などと連絡を取るのをスムーズにしてくれます。単に連絡を取れるというだけでなく、瞬時にメッセージや動画を送れますし、リアルタイムでの音声通話もできます。より緊密な意思疎通を図れるようにもしてくれます。

物理的に同じ場所にいなくても **テレワーク、オンライン会議システム**
所の違いをなくす、というのも ICT の大きな目的
ネット通信環境がない家庭もある



1日の流れの中にあるICTの技術

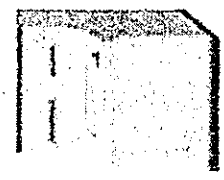
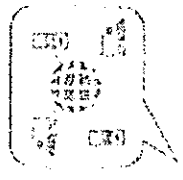
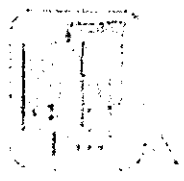
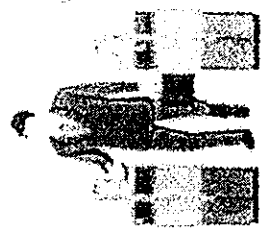
ICカード CAD CSRD メール確認



預金引出し

POSシステム お店予約

ネットマーケティング



★～新型コロナウイルス感染症の予防対策～★

- ・参加者は必ずマスクを着用してくださるようお願いいたします。
- ・施設入り口等でのアルコール消毒等にご協力ください。
- ・発熱や咳等風邪の症状がみられる場合には、参加を控えてください。
- ・講座は三密（密閉・密集・密接）を避けるために、一定程度の距離の確保にご協力ください。
- ・新型コロナウイルスの感染の状況次第では、講座を急遽中止することもあり得ますのでご了承ください。

【対象者】 愛荘町に在住・在勤の方

①は一般向け、②③は親子向けの講座となります。

【申込方法】 下記の申込書にご記入のうえ、秦荘庁舎2階の生涯学習課窓口にお申し込みください。

【申込期間】 令和2年7月22日（水）～令和2年8月21日（金）

土曜日、日曜日、祝日を除く上記の期間の午前8：30から午後5：15まで
（上記時間にお申し込みが難しい、手話通訳、託児所等が必要など詳しくお知りになりたい場合は、下記問合せ先にご相談ください。）

（※定員になり次第締め切ります。）

【申込、問合せ先】 生涯学習課 秦荘庁舎2階（愛荘町安孫子825）

TEL：0749-37-8055

きりとりせん

あいしょう学びの広場講座申込書

下記講座のうち申し込みされる講座番号を下の「申込講座」欄にご記入ください。

- ①. 究極のエコバッグ～ふろしきからくらかたを見直そう～
- ②. 雲を作ってみよう
- ③. 火おこし体験

申込講座（上記①～③をご記入ください）	氏名	住所	連絡先電話番号	区分
				親子・一般
				親子・一般
				親子・一般
				親子・一般
				親子・一般

※ 親子で参加される方は代表者を名簿の一番上に記載してください。

あいしょう学びの広場講座

親子で一緒に科学実験に参加しませんか。また、令和2年7月1日からレジ袋有料化となったこの機会にエコと向き合い、今までの暮らし方を見直してみませんか。生涯学習課では次の講座を開催しますので、興味がある方はぜひお申し込みください。なお、先着順ですので、受講を希望される方はお早めをお願いします。

①究極のエコバッグ

～ふろしきからくらしかたを見直そう～

日本の文化ともいえる、ふろしきの活用、包み方を体験することによって、「もったいない」の心・工夫を見つけ出そう

【日 時】 令和2年8月29日(土) 9:30~11:30

【場 所】 ハーティーセンター秦荘 中ホール

【定 員】 一般の方を対象、先着20名

【受講料】 無料



②雲を作ってみよう

実験を通して雨や風などの身近な自然現象に関心を持とう

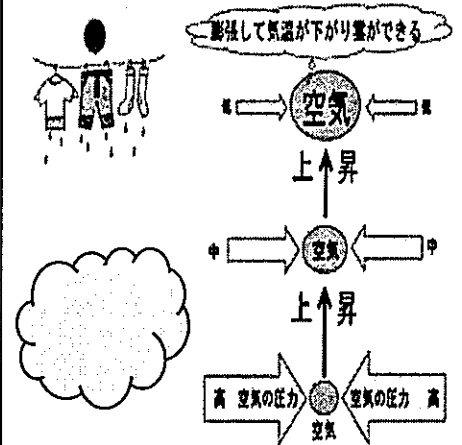
【日 時】 令和2年9月19日(土) 9:30~11:00

【場 所】 ハーティーセンター秦荘 中ホール

【定 員】 親子を対象、先着10組(30名まで)

※ 子どもだけの参加はご遠慮願います。

【受講料】 無料



③火おこし体験

マッチやライターのない時代の人たちが、どのようにして火をおこしていたかを学ぼう

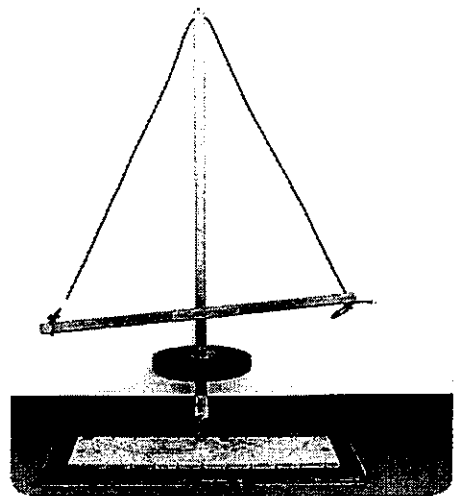
【日 時】 令和2年10月17日(土) 9:30~11:00

【場 所】 愛知川公民館 ふれあい室、和室、中庭

【定 員】 親子を対象、先着10組(30名まで)

※ 子どもだけの参加はご遠慮願います。

【受講料】 無料



資料 1

令和2年度 あいしょう学びの広場講座の申込結果 (令和2年8月21日(金)現在)

講座名	申込者数
究極のエコバッグ ～ふるしきからくらかたを見直そう～	9人
雲を作ってみよう	14人
火おこし体験	9人

●周知方法●

- ・広報あいしょう8月号カラー版(7月20日(月)発行)にチラシを差込
- ・防災行政無線
- ・町ホームページに掲載